「クリスマス会」

今年は12月22日に行いました。当日の昼食はバイキングとなっており、皆さんモリモリ食べておられました。「おいしい～」「もっと食べれるわ～」という声がたくさんあがっていました。午後からは各班の出し物や合唱があり、大盛り上がりでした。最後にサプライズゲストとしてサンタが登場して、一人ひとりにプレゼントを手渡してくれました。おやつにはフルーツたっぷりのチョコケーキが出て、コーヒーと一緒に味わいました。

「歌サークル」名前を募集中!!

今年度より「歌のサークル」を立ち上げました。歌が大好きな皆さんと一緒に、毎週火曜日のお昼に取り組んでいます。声をかけると大勢集まってくれ、歌あり、踊りありの賑やかな練習となっています。

曲は「ふなで」をはじめ、皆さんからのリクエストによる曲を練習しています。現在「サークル名」を募集していますので、皆様からのご応募をお待ちしています。

歌あり、踊りあり
毎火曜に楽しく練習

▲第１回貝塚福祉まつりで歌声を披露

ラブリーせんごく 今回のおしゃれは WinterVersionネイルでした

第１回 貝塚ひびきあいまつり

前日の大雨もすっかり上がり
大成功で閉幕。
ご協力有り難うございました。

マジックや吹奏楽、大正琴etc...
せんごくの里・こすもすの里の
利用者の皆さんもよさこいソーランや合唱と日頃の成果を発表。
大いに盛り上がった中央舞台でした。

模擬店

不況の厳しい折ですが、模擬店の売り上げもたくさんありました。ご協力ありがとうございました。

中央舞台

▲オープニングは永寿小学校太鼓クラブ

▶中央舞台の最後の演目は貝塚南高校吹奏楽部の演奏

せんごくの里ニュース
ふなで

2012年１月　第４号

〒597-0042　貝塚市王子1183-3
TEL. 072-437-1075
FAX. 072-437-1076
発行者：岡田　透

みんなの夢 今年の抱負 2012

明けまして
おめでとうございます

甲斐あす香さん
土曜日に誕生日会を開催して欲しい

洋野 紬子さん
嵐の大野くんに会いたい

奥垣 麻紀さん
みんなと買い物に行きたい

阪本 数雄さん
日帰り旅行に行きたい

庄司 英季さん
みんなで外食したい

森田 洋平さん
作業がんばりたい

柏原 敏充さん
車に乗ってどこかに行きたい

板原 秀興さん
ボーリングとカラオケをみんなと一緒に楽しみたい

森西 貴栄さん
遊園地に行きたい

木下 大樹さん
自治会の会長と仕事給料アップを頑張ります。

宮野 和仁さん
花火大会に行きたい

植田 有紀さん
みんなのお母さんたちとも交流会をしたい

藤原 かおりさん
はんにゃの金田くんに会いたい

阿弥 佑一さん
電車を見にいきたい

基山 英莉加さん
ラブリーでマニキュアしたい
旅行に行きたい

繩留 武史さん
海に旅行いきたい

小嶋 啓夢さん
もっと給料を上げたい。
お客さんを増やして
売り上げを上げたい。

蕎原屋 りなさん
お給料のアップ

郷出 元気さん
給料のアップ！

工藤 茉奈実さん
今年はプールにいっぱい行きたい

四條 史也さん
みんなとどこかへ遊びに行きたい

谷村 勝義さん
遊園地の乗り物に乗りたい

濵上 卓也さん
ニ月からは
土曜日は来れるから
待っててください。
販売も楽しかったよ！

岡山 清憲さん
旅行に行きたい

近藤 紀子さん
お客さんがたくさん来て、楽しい一年だった。
販売やなんでも頑張ります。
来年はもっとたくさんのお客さんが来るようにしたい。

松野 淳平さん
前のように
一泊旅行に行きたい

藤村 好久さん
パンを作った。
福祉センターでの販売が楽しかった。
今年も仕事、がんばります。

中道 敦子さん
自分のしたい事を伝えられるようにしたい

平沼 佑太さん
みんなといっしょに外出やお菓子作りをしたい

岸本 正徳さん
みんなと外食したい

岡本 健次さん
散歩がんばってつづけたい

中岡 潤忠さん
マラソンを走ってみたい

人とつながる地域でつながる
施設づくりをめざして

せんごくの里　所長　岡田　透

新年、あけましておめでとうございます。

せんごくの里が開所して二回目のお正月をむかえました。これも多くの皆様のご支援、ご協力を頂いたことに尽きます。誠にありがとうございました。

私たち職員は、利用者、家族の皆さんの思いやねがいを受け止め、支援の方向性や目標を求めていくことです。それを行うためには、何が必要で、今は何が不足しているのか、常に検証が必要であり、追求していきます。

利用者の皆さんが、せんごくの里に明日も登所したいと思える施設づくりを今後もめざしていきます。

また、法人全体を見ますと、今年、貝塚こすもすの里の日中活動の場として「ワークセンターすっく」の建設計画が進んでおりますので、ご支援をお願いいたします。

至らぬことが多くあり、ご迷惑をおかけしますが、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

様々な体験とおして 生活力を身につけて

植田　良子

たくさんの情報の中で、やりたい事、行きたい所を見つけてはインターネットで検索し、プリントアウトして見せに来ます。全てにＯＫを出すことはできませんが、少しずつ時期を見て希望をかなえてあげたいと思っています。そのためにはと、最近、時間延長の仕事にも参加できるようになってきたようです。一方的な話題はもう阪神戦の甲子園観戦や誕生日（９月）のお祝いメニューにまで進んでいます。

色んな体験を通して、生活力を身につけてもらいたいと思っています。

楽しい取り組みも給料アップの要望も 自治会（ひまわり）が中心に

2010年９月にせんごくの里ができました。わくわく、どきどきしました。

白いくも、わくわく、いきいきグループに分かれて仕事がはじまりました。みんな、頑張って仕事をしました。

休憩時間は話をしたり、本を読んだり楽しい時間です。

ある日、テレビのリモコンを持っていたい人同士がケンカになりました。どうしたら仲良くできるかな？

帰りの送迎の時間になると、一番に車に乗りたい人がたくさんいて、階段でぶつかりました。どうしたらいいかな？

「みんなで考えたらええやん。」と言ってくれた人がいました。そして、みんなで考える「自治会」をつくることにしました。

４人の仲間が役員に立候補して、毎月の役員会、全体会を進めています。

クリスマス会、豆まき、お花見会、一周年のお祝い会も、自治会が一緒に考えました。仕事を一生懸命しているので、要望書をだして、お給料を上げる事ができました。夏と冬には交渉をして、ボーナスも出ました。とても、嬉しかったです。

白いくも、はつらつ班、わくわく班、いきいき班に分かれて仕事をしているけど、自治会はみんな一緒です。これからもみんなで考えていきます。

今年度の自治会役員

会　長	木下大樹
副会長	近藤紀子
書　記	森西貴栄
会　計	板原秀興

（敬称略）

せんごくの里 力あわせてねがいを前へ　さらにいっぱい素敵な施設へ

作業を通じて広がる 友達関係

松野　万里子

せんごくの里に移り、二回目の新年を迎えます。

こすもすの里で生活のリズムが出来、元気に楽しく過ごせていたので、変わる事へは、期待と不安がありました。そんな心配も関係なく、新しい施設に慣れていく息子にホッとしました。

二ヶ月過ぎた頃、七月に父親が亡くなり、いろいろな環境の変化に頑張りすぎたのか、多々ご心配、ご迷惑をかける事がありました。母親として気持ちが折れそうになりました。そんな時、職員の方に話を聞いていただき、助けていただきました。

今では、大好きなコーヒータイム、毎日の給食は前日からの献立チェックが日課となっています。紙すきの行程のひとりとしてお友達とのつながりも広がっていると聞き、喜んでいます。これからも淳平にとって作業もがんばり、楽しいせんごくの里であることを願っています。

家では出来ない グループ活動が楽しみに

吉川　秋子

せんごくの里のカフェのコーヒーが大好きな清憲は、毎週木曜日を楽しみに、いつの間にか自分のペースで決めている感じです。土・日はゆっくり。せんごくの里での活動も、帰ってから私たち親子の話題になり色々と仲間の行動、職員さんの言葉など、様子を知ることが出来ました。

支援の中でも、午後からの活動、大好きな職員さんと利用者（仲間）さんとの関わりも増え、家庭では出来ない外出、ドライブなどのグループ活動が楽しいようです。

何よりもせんごくの里へ行くのが当たり前のようになってきているようです。体調の悪い時以外は休むこともなく、心も体も元気になっているような成長ぶりで、落ち着いてきています。

これからも、色々な体験の出来るせんごくの里で、楽しく仲間と一緒に頑張って欲しいです。

皆様の支えで今の息子があります。健康管理に気をつけるよう、親の方も心がけます。

社会人として歩み始めた息子 仕事がんばり、生活を楽しむ どちらも大切に

宮野　友加里

社会人としての道を歩み始めた息子、和仁。

環境の大きな変化に戸惑う数ヶ月を経て、徐々に落ち着きが表れてきたように感じます。

蝶々結びのあるお仕事が得意で、体を動かすこと絵本と音楽が大好き。親に対する甘えと自立との狭間で葛藤する十九歳です。

仕事をがんばること。生活を楽しむこと。そのどちらも大切に過ごして欲しいという親の願いを受け止めてくれる、せんごくの里とのめぐり会いに感謝の日々です。

今の息子の姿を想像することすらできなかった苦悩の十数年を振り返る時、人はその人のペースで変化し、成長し続けていくことができるのだということを実感しています。

まだまだ課題はたくさんありますが、今日という日を積み重ねてゆくその先に、未来の笑顔があることを願って、毎日を明るく大事に生きていきたいと思います。

これからも親子共々、どうぞよろしくお願いします。